

令和8年度第78回関東高等学校ヨット大会
第67回全国高等学校ヨット選手権大会予選

実施要項

レース公示 (NOR)

1. 主催 関東高等学校体育連盟 山梨県教育委員会 山梨県セーリング連盟
2. 運営 関東高等学校体育連盟ヨット専門部 山梨県高等学校体育連盟
3. 後援 公益財団法人山梨県スポーツ協会 山中湖村 山中湖村教育委員会
3. 期日 (1) 大会装備検査 令和8年6月12日(金) 9:00~15:00
(2) 開会式 令和8年6月12日(金) 16:00~
(3) 競技 令和8年6月13日(土)~6月14日(日)
(4) 閉会式 令和8年6月14日(日) 15:00~
4. 会場 山中湖村ヨットハーバー(競技会場)
山梨県南都留郡山中湖村山中 237-1 TEL 0555-62-1881
(富士急行線「富士山駅」より富士急バス道志小学校方面行きに乗車「山中湖村役場前」で下車)
ホテル清溪(式典会場) (ヨットハーバーから徒歩5分)
山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296 TEL 0555-62-0020
5. 競技種目 団体競技 男子コンバインド 女子コンバインド
団体競技 男子420級 女子420級
個人競技 男子ILCA6級 女子ILCA6級
6. 引率・監督 (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。
引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
(2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。なお、個人において引率責任者が複数校を引率する場合は、同一都道府県内に限るものとする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
(3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
(4) 同一校から2チーム以上出場する場合、複数チームの監督を兼ねることができる。
7. 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在籍する生徒であること。但し、休学中・留学中の生徒は除く。

- (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、本大会要項により参加資格を得た者に限る。ただし、各都県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 令和8年度日本セーリング連盟会員登録を完了している者。
- (4) 2007年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
 - ア 部員不足に伴う合同チーム
 - (都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められる場合)
 - 詳細は、本連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
 - ※ ヨット競技は部員不足に伴う複数校合同チームの対象外とする。
 - イ 統廃合対象校による合同チーム
 - (統廃合完了前の2年間に限る)
 - 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (7) 転入後6カ月未満の者の参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)
 - ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は各都県高等学校体育連盟会長の許可があればその限りではない。
- (8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) 関東高等学校体育大会参加資格の特例
 - ア. 上記(1)および(2)に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記(4)のただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア. 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
 - また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8. 参加制限 (外国人留学生の扱いは以下のとおりとする)
- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
 - (2) 在籍校が各都県高等学校体育連盟に加盟していること。
 - (3) 2007年4月2日以降に生まれたものとする。
 - (4) 短期留学生は除く
9. 競技規則
- (1) 大会は、2025-2028 セーリング競技規則(以下「規則」という。)に定義された「規則」を適用する。
 - (2) ペナルティー方式として、付則P、付則Tを適用する。
 - (3) 帆走指示書は、大会陸上本部にて、受付時に入手することができる。
また、5月29日(金)までに、山梨県セーリング連盟ホームページにて公開する。
なお、帆走指示書の内容に関する質問は、6月11日(木)15:00まで文書で受け付ける。
なお回答は6月12日(金)までに公式通告する。
 - (4) 競技規則付則(以下「付則」という)Dは適用しない。
 - (5) 広告については、競技規則、WS 広告規程、国際420クラス規則および国際レーザークラス規則によるが、(公財)全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規程」がすべてに優先する。
 - (6) 艇は自らの安全のためにマストトップに、揚力を増すことがない浮力体を取り付けることができる。またコンディションにより取り付けたり外したりすることができる。国際420級については、この項を規則87及びクラス規則A8.2に基づき、クラス規則C5.1aに追加するものとする。
 - (7) 規則70.5(a)に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決に対する上告の権利は否認される。(2026年〇月〇日付け JSAF ルール委員会承認申請中)
10. 選手とのコミュニケーション
- (1) 競技者への通告は、公式掲示板(大会 Racing Rules Of Sailing.org 以下「大会 RRS.org」という。)に掲示される。公式掲示板はオンラインのみとし、大会 web サイトで利用できる。なお、大会会場には Free Wifi のサービスはない。
 - (2) 委員会は、補助的連絡ツールとして LINE (以下「LINE」という) のオープンチャットで連絡を行う。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは規則60.1(b)を変更している。
 - (2) 競技者は、令和8年6月1日(月)15:00までに「LINE」のオープンチャットへの登録すること。(各艇1人以上の登録が必要ですが不可能な場合ご相談ください)登録方法は、別途指示する。
- 11 競技方法
- (1) 各高等学校より420級には男女それぞれ2艇、ILCA6級には男女それぞれ2艇までエントリーできる。420級については1艇4名以内の選手登録とし、1チームを構成する。チーム内でのレースごとのスキッパー、クルーの分担は任意である。ILCA6級については、1艇1名の選手登録とする。ただし、同一の選手が複数の種目・艇にまたがって登録することはできない。また、参加申し込み締め切り以降の選手登録の変更は原則として認めない。
 - (2) 本大会は6レースを予定する。天候その他の事情によりすべてのレースを消化できなかった場合、1レースの完了をもって大会は成立する。
 - (3) 1日に行うレース数は最大5レースとする。
 - (4) 各レースは、各クラスともに男子、女子すべて同時スタートとする。
 - (5) 帆走するコースは Windward/Leeward (風上/風下) コースを予定し、詳細は帆走指示書で規定する。

- (6) 得点方法は競技規則付則A4による。ただし、艇のシリーズ得点は、完了したレースが3回以下の場合、すべてのレースにおけるその艇の合計得点とし、完了したレースが4回以上の場合、その艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- (7) 各艇のレース得点は男女別につける。
- (8) 使用する艇は、各学校の所有艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇でなければならない。
- (9) 同一のセール番号を複数の艇が使用することは認めない。またエントリー完了以降のセール番号の変更は認めない
- (10) コンバインド競技は学校対抗とし、男女それぞれ 420 級、ILCA6 級の最終順位に対する得点を与え、各校の上位 2 艇までの合計得点で決定する。「最終順位に対する得点」とは下表のとおりとする。なお、得点はすべての参加艇に与える。同点の場合は、420 級、ILCA 6 級のいずれかで最も良い順位を獲得した学校を上位とする。それでも順位が決まらない場合は、同位とする。

表

	420 級	ILCA6 級 (小数点第 2 位四捨五入)
1 位	参加艇数の値	参加艇数の値に 0.7 を乗じた値
以下	1 位下がるごとに 1 点を減じた値	1 位下がるごとに 1 点を減じたのち 0.7 を乗じた値

12. 計 測 (1) 山梨県セーリング連盟ホームページ「関東大会特設ページ」 (http://www.***.***) に公表される「大会装備規程」に従って大会計測の準備をすること。
- (2) セール・艇・装備品等の計測を 6 月 12 日 (金) 09:30~15:00 の間に、ヨットハーバー艇置場で行う。計測の手順等は受付時まで指示する。なお、計測時には艇及びセールを可能な限り乾燥させておかなければならない。
- (3) 計測はエントリー数のみ行い、予備艇や予備セールの事前計測は行わない。
- (4) 競技規則 78 および装備規則 A.2 に留意し、計測証明書を持参すること。ただし、艇体番号とセール番号が異なる場合は、双方の計測証明書を持参すること。
- (5) 計測料は 1 艇 (セール 1 組含む) につき、1,000 円とする。
- (6) 女子チームについては、420 級クラス規則 (C10.2(C))、レーザークラス規則 4(g) iC に従って、「赤色の菱形マーク」を付けなければならない。
 なお、参加申し込み時に希望すれば、「赤色の菱形マーク」を購入することができる。
 1セット 1,500 円 (税込み) で、受付時に代金と引き換えで受け取ることができる。
- (7) 曳航ロープについて
- (a) 420 級については、420 クラス規則のとおりとする。
 - (b) ILCA6 級については、直径 6mm 以上、長さ 5m 以上の曳航ロープをバウアイに結びつけておかなければならない。

13. 参加料 420 級については 1 艇につき 20,000 円、ILCA6 級は 1 艇につき 3,000 円とする。参加申し込みとあわせて、5 月 29 日 (金) までに下記振込先に振り込むこと。なお一旦納入された参加料は、大会の中止、あるいは参加者が出場を取り消した場合でも返金しない。振込手数料は参加校が負担すること。振込は学校名にて振り込むこと。個人名で振り込むことがないように注意すること。

参加料振込先

山梨中央銀行 竜ヶ丘支店 (店番号 514)

普通 82933

山梨県高体連ヨット大会事務局 代表 千葉 瞭太郎

14. 表彰 (1) 男女 420 級の 1 位に賞状および優勝杯（持ち回り）を授与し、2 位から 6 位に賞状を授与する。
 (2) 男女 ILCA6 級の 1 位に賞状および優勝杯（持ち回り）を授与し、2 位から 6 位に賞状を授与する。
 (3) 男女 420 級、ILCA6 級は下記のとおり令和 8 年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会への出場権を与える。なお、出場権を獲得したのちに、全国高校総体への出場を辞退する場合には、速やかに大会事務局に連絡しなければならない。また、全国高校総体参加申し込み期限までの間に、辞退が生じた場合は、上位から順次出場権の繰り上げを行う。
 ・男子 420 級；1 位から 9 位まで ・女子 420 級；1 位から 4 位まで
 ・男子 ILCA6 級；1 位から 6 位まで ・女子 ILCA6 級；1 位及び 2 位
 (4) 男女コンバインド競技の 1 位の学校に賞状および優勝旗（持ち回り）を授与し、2 位および 3 位の学校には賞状を授与する。
 (5) 各種目の前年度優勝校にレプリカを授与する。
15. 宿泊 宿舎は開催地で斡旋する。別添「宿泊・弁当申込要項」により、斡旋旅行会社あてに申し込むこと。
16. 競技日程
- | | | |
|--------------|---------------------|---|
| 6 月 1 2 日（金） | 受付 | 08:30～13:00 |
| | | 大会陸上本部（山中湖村ヨットハーバー艇庫内） |
| | 計測受付 | 08:30～（艇置き場計測テント） |
| | 計測 | 09:00 ～ 15:00（ヨットハーバー艇置場テント） |
| | | 海上自由練習 10:00～15:00 |
| | | 大会装備検査（計測）を終えていない艇は出艇してはならない。 |
| | | 大会本部は、海上自由練習に対して監視・救助体制は組まない。なお、海上練習を行う艇は、陸上本部にて出艇・帰着申告を行わなければならない。 |
| | 開会式 | 16:00～（ホテル清溪 体育館） |
| | 監督主将会議 | 開会式に引き続き（開会式会場） |
| 6 月 1 3 日（土） | ブリーフィング（ヨットハーバー艇庫前） | 08:20～ |
| | 最初のクラス | 第 1 レーススタート予告信号予定時刻 09:30 |
| | 引き続きレース | （最大 5 レース） |
| 6 月 1 4 日（日） | ブリーフィング（ヨットハーバー艇庫前） | 8:20～ |
| | 最初のクラス | スタート予告信号予定時刻 9:30 |
| | 引き続きレース | |
| | | 13:00 以降は予告信号を発しない。 |
| | 閉会式 | 15:30～（ホテル清溪 体育館） |
17. 参加申込 (1) 申込責任者は各都県ヨット専門部長とし、専門委員長がとりまとめて申し込むこと。
 (2) 参加申込
 ①参加校は下記の(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)※必要な学校のみ、(オ)の手順で必要ファイルを作成し、関東高体連のホームページから「都県専門部」もしくは「開催都県」宛の提出フォームに提出する。
 (ア) 関東高体連ホームページより、参加申込書等の提出書類をダウンロードする。

- (イ) 参加申込書を作成し、学校調印を押印後 PDF ファイルを作成。「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
 - (ウ) 参加料を上記 13. 参加料の振込先に振り込み、通知書を PDF ファイルにし、「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
 - (エ) 「部活動指導員」が引率する場合は、都県高体連に届け出た申請書を PDF ファイルにし、「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
 - (オ) 参加申込書の Excel ファイルを「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
- ②各都県ヨット専門部委員長は関東高体連ホームページ（都県ヨット専門部の提出箱）に提出された参加申込書をダウンロードし確認する。確認後、全ての参加校の参加申込書（PDF）を「都県事務局」宛の提出フォームに提出する。それ以外のファイルは、「開催都県」宛の提出フォームに提出する。
- 各都県専門部委員長のファイル提出期限は、令和 8 年 5 月 29 日（金）とする。

〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原 1-2 3-1
 山梨県立富士北稜高等学校内
 山梨県高等学校体育連盟ヨット専門部 千葉 瞭太郎 宛
 電 話 0555-22-4161
 F A X 0555-30-0173
 E-mail : chibaryo@kai.ed.jp

- (2) 学校長は学校健康診断において異常がなく、またその後の活動にも異常がないと認めた上で参加申し込みをすること
- (3) 外部指導者を監督とする場合は、障害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）の保険証券のコピーを参加申込書に添付すること。

※個人情報の取り扱いの関して

大会参加申し込みをもって個人情報・肖像権の取り扱いについて了解を得たとみなします。大会参加に関して提供される個人情報は、本大会活動にのみ利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。詳しくは「関東高等学校体育大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」をご参照ください。

18. 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、障害などに対する応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくことを強く推奨する。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 艇の搬入は原則として 6 月 11 日（木）9:00 以降とし、搬出は 6 月 15 日（月）12:00 までとする。
- (3) 支援者艇の運航については別途「大会支援者規程（STR）」に従うこと。なお、支援者艇を持ち込む場合には、別途登録の手続きが必要なので、事前に山中湖村観光課に連絡を取る。申請書等の書式は以下の HP よりダウンロードできる。
<https://www.vill.yamanakako.lg.jp/info/661>
- (4) 事前練習について、主催者は一切の責任を負わない。
- (5) 選手の体格・体重に適合するライフジャケット（個人用浮揚用具）を各自持参すること。個人用浮揚用具は、少なくとも ISO 12402-5（Level 50）または同等な浮揚基準を満たさなければならない。ただし、膨張式救命胴衣の使用は禁止する。
- (6) 昼食休憩時間は、陸上にて確保する。
- (7) 6 月の山中湖は気温・水温とも冷え込みことも予想されるのでウエットスーツ・ドライスーツ等の防寒着を用意、十分な対策をすること。
- (8) 大会会場には選手控テント等の準備はない。

19 大会に関する文書

大会に関する文書・様式は、山梨県セーリング連盟ホームページ「関東大会特設ページ」（http://www.***）及び RRS.org に公表され、入手することができる。「関東大会特設ページ」の開設期間は次のとおりである。

以 上